

令和二年度 入学式 式辞

桜の花も満開の時期となり、春の暖かさを感じられる今日の良き日に、晴れて入学式を迎えるました第七十四期生 百三十四名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

そして、中学校の制服に身を包み、成長した我が子の姿を、まのあたりにされた保護者の皆様方におかれましては感慨もひとしおのことと思います。本日は誠におめでとうございます。

新入生の皆さんには、小学校を卒業する際も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大阪市立のすべての学校園が臨時休業の中『卒業式』が行われました。現在も、ウイルス感染の状況は収束に向かっておらず、来賓・地域の皆様方の参加のない中での『入学式』となりました。しかし、こんな時だからこそ、みんなで力を合わせて、この難局を乗り切っていこうという強い気持ちを持って、中学生としてのスタート切ってもらえたから思っています。

さて、新入生の皆さんには、今日から七十一年の歴史と伝統のある北稜中学校の一員となります。中学生としての自覚と誇りを持って、これから三年間、しっかりと頑張ってください。入学にあたり、勉強や部活動など、不安に思っていることもたくさんあると思います。本日、配付される一年生の『学年通信』に書かれている内容ではありますが、「新入生の皆さん、心配することはありません」「君たちは一人ではありません」「多くの友だち・先輩・先生がいます」「小学校でうまくいかないことがあった人は、リセットも可能です」「新しい自分、新しい生活をともに始めていきましょう」と書かれていました。まったくその通りだと思います。新入生の皆さんには、安心して北稜中学校へ通ってください。

新入生の皆さん一人ひとりが持つ「秘められた力」を、発揮できる場として、中学校には部活動があります。北稜中学校には8つの運動部と、6つの文化部があります。部活動の良さは、違う学年の先輩や後輩と、スポーツや文化的な取組を通じてつながれるということです。また、技能や能力を伸ばすだけでなく、部活動を通して「礼儀」や「マナー」が学べることなど、将来の君たちにとって素晴らしい財産になると思います。もちろん、校外でのスポーツ少年団や、地域の音楽団などに所属し、同じような成果をあげている生徒がいることも分かっています。要するに、何か一生懸命に打ち込めるものがあることで、他にも多くのことを学ぶことができるということです。ぜひとも、中学校では何か打ち込めるものを見つけて、人間としてさらに大きく成長してほしいと願っています。

次に新入生の皆さんに実行してもらいたいことを一点お話しします。基本的な生活習慣を、きちんと身に付けておくことが大切であるということです。例えば、常に時間を守るよう心がけることや、学校のルールやマナーを守ること、また、気持ちの良い挨拶が交わせられることなど、当たり前のことが、当たり前にできることは、とても大切なことです。

昨年度、私は本校に着任し、一年間君たちの先輩の姿を見てきました。週に一度、全校集会でお話をする機会がありましたが、生活面にしても、学習面にしても、学校行事の取組にしても、部活動にしても、あらゆる面で褒めることがたくさんありました。私も本当に嬉しく思いましたし、北稜中学校のことを誇りに感じました。これからの中学校生活の中で、君たちの先輩が、良い見本をたくさん示してくれると思います。北稜中学校で過ごす三年間で、『社会で通用する素晴らしい人』に育ってもらいたいと、心より願っています。

結びになりましたが、今日入学された皆さん、保護者の皆様。北稜中学校の教職員・在校生一同、心よりご入学を歓迎いたします。そして、保護者の皆様・地域の方々にご協力をいただき、新入生の中学校生活がより素晴らしいものとなるよう、また、地域から愛される学校になりますよう、教職員一同、努力を惜しまないことをお約束して、式辞とさせていただきます。

令和二年四月三日

大阪市立北稜中学校 校長 山咲進一